

令和8年度炉物理夏期セミナーの開催について

令和8年6月16日
日本原子力研究開発機構
臨界安全研究グループ

1. 日程

2026年8月26日（水）～28日（金）

2. 場所

日本原子力研究開発機構外来者用多目的宿泊施設(Tokai Mirai Base) 多目的研修室

(〒319-1118 茨城県那珂郡東海村舟石川駅東3丁目7-25)

3. 参加資格

社会人・学生の炉物理部会員の参加を主とするが、JAEAが主催するものであり、他部会員、非会員の参加を妨げるものではない。

4. 参加費

参加費は無料とする。但し、宿泊・交通費、懇親会費は参加者各自負担とする。

5. 主な内容

1) 臨界安全の基礎知識

東京電力HD福島第一原子力発電所(1F)事故における燃料デブリの加工・回収に際しては、「臨界」に対する対策が重要な課題のひとつとして挙げられている。今後の1F廃炉作業も見据え、炉物理に関わる私たちはこの現象をよりよく理解し、一般の方々にも説明できるよう努めなければならないと考える。

今回のセミナーにおいては、臨界安全を考える上での基本事項を概説した上で、臨界事故(JCO臨界事故時対応者の講演を含む)、燃焼度クレジット、臨界安全コード、未臨界判定基準の考え方のほか、サイクル施設における実務の紹介、1F燃料デブリの臨界特性を評価するために更新改造されたJAEAの臨界実験装置STACYとその成果、規格標準など臨界安全関係の活動・取り組みについて紹介することを予定している。

2) 若手研究会

学生・若手小委員会と検討し、初日に3名程度を予定する。経験に関わらずオープンに意見交換ができるトラディショナルな開催方式としたい。

3) テクニカルツアー

日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の定常臨界実験装置STACYなどを見学す

るツアーを企画する（先着順・学生優先）。さらに可能であれば、原子炉運転実習を小規模で開催する。

6. 懇親会

開催初日（8/26）の夜に会場で立食形式で企画する。参加者希望者から社会人数千円程度、学生ワンコイン程度の会費を徴収予定。

7. スケジュール

第1日（8月26日（水））

12:30～ 受付開始

（参考：常磐線特急ひたち9号 品川 10:45 発、東京 10:53 発→東海 12:18 着）

13:30～ 開校式

13:45～ 講義

17:15～ 写真撮影・若手研究会

19:00～ 懇親会

第2日（8月27日（木））

9:00～ 講義

12:15～ 昼食

13:30～ 講義

16:15～ 閉校式

第3日（8月28日（金））

9:00～ テクニカルツアー

JAEA 原子力科学研究所 エスコートの関係で先着 30 名程度とする予定

（※学生優先申し込みとしたい）

8. その他

・ JAEA Tokai Mirai Base の宿泊希望の方について、学生優先で若干名受付としたいが、JAEA の夏期実習期間中でもあるため確約するものではない

組織委員会

主催：日本原子力研究開発機構 原子力安全・防災研究所 臨界安全研究グループ

共催：日本原子力学会炉物理部会

委員：郡司智、渡邊友章、荒木祥平、福田航大、須山賢也（以上 JAEA）、

藤田達也（北海道大学）

以 上

(別 紙)

タイムテーブル (案)

第 1 日 (8 月 26 日 (水))

12:30～ 受付開始

13:30～ 開校式 (JAEA 大井川上級執行役挨拶、須山部会長挨拶、事務局連絡)
(臨界安全の基礎知識)

13:45-14:00 [TBD/JAEA] 臨界安全研究全般

(臨界事故)

14:00-15:00 [福田・荒木] 臨界が起きたときに想定される事象と実際に起きた臨
界事故の解説

15:00-15:15 休憩

15:15-17:15 [中島先生、奥野先生] JCO 事故とその対応、若手へのメッセージ

17:15-17:35 写真撮影、休憩

(若手研究会)

17:35-18:50 若手研究会 (各 25 分、発表時間 15～20 分)

17:35-18:00 発表者 1

18:00-18:25 発表者 2

18:25-18:50 発表者 3

18:50-19:00 会場転換

19:00-21:00 懇親会

21:00 完全退出

第 2 日 (8 月 27 日 (木))

(臨界評価手法)

9:00-9:30 [TBD/JAEA] 定常臨界実験装置 STACY とその成果、今後の展望

9:30-10:30 [渡邊・藤田] 燃焼度クレジットの概念と活用方法

10:30-10:45 休憩

10:45-11:15 [須山] 臨界評価コード

(臨界安全の実務知識)

11:15-11:45 [外部講師 NFI 殿] 成型加工施設における臨界管理 (仮)

11:45-12:15 [外部講師 JNFL 殿] MOX 加工、再処理施設における臨界管理 (仮)

12:15-13:30 昼食休憩

13:30–15:00 [遠藤先生] 未臨界判定基準の考え方
15:00–15:15 休憩

(臨界安全全般、その他)

15:15–15:45 [郡司] 臨界安全に関する世界的動向、規格、標準、規制 (仮)
15:45–16:15 炉物理部会自由意見交換会
16:15～ 閉校式
16:30 解散、テクニカルツアー参加者には事前説明を実施

第3日 (8月28日 (金))

9:30～ テクニカルツアー (原子力科学研究所 STACY、FCA?、原子力科学館等)
(STACY 原子炉実習も視野、但し少人数)

事前学習の推奨

・臨界安全の基礎知識部分については事前に受講者に配布し、自学自習してもらう予定

申し込み方法

個人ごとに下記申し込みフォームから申し込む

事務局・問い合わせ先

日本原子力研究開発機構 原子力安全・防災研究所

安全研究センター 臨界安全研究グループ

郡司 (gunji.satoshi74@jaea.go.jp)

荒木 (araki.shohei@jaea.go.jp)